

# アフターケア通信

ご本尊を受けとられた貴方へ

## 除夜の鐘

【12月号】

### 【除夜の鐘って、なぜ108つ?】

「除夜」とは「旧年を除く夜」という意味で、12月31日の大晦日の夜をいいます。その大晦日にお寺から聞こえてくるのが除夜の鐘です。

仏教では、人間は煩惱（ぼんのう）の存在だと言われます。それが全部で108つあると言われることから、除夜の鐘は108回撞かれるようになりました。通常は、その煩惱を鐘の音で取り払い、浄らかな身と心で新年を迎えましょと、大晦日の夜に除夜の鐘を撞くのです。

### 【煩惱はなくなる!?!】

しかし、親鸞聖人（しんらんしょうにん）の煩惱の見方はこれと少し異なります。聖人は9歳で出家してから29歳までの20年間を比叡山で過ごし、「断惑証理（煩惱を断って真理を証る）」という旗印のもと、大変厳しい修行に励みました。そこで明らかになったのは、煩惱を断つどころか、人間はその煩惱が欠け目なく身に備わった存在で、いくら取り除こうとしても除くことが出来ない存在、すなわち「煩惱具足の凡夫」だということでした。

### 【煩惱の身のままで】

阿弥陀如来は、私たちの煩惱の身をありのままに照らし出し、そのようなあなたをこそ救いたいと、“南無阿弥陀仏”の六字を選び施して下さいました。そして、私の国へ生まれたいと願う者は、煩惱の身のままで必ず救うと願い誓っておられるのです。このことを親鸞聖人は、正信偈に「不断煩惱得涅槃（赤本9頁）」と記されました。

除夜の鐘の音色は、私たちと仏様の切っても切れない大切な関係を教えてくれています。今年の大晦日、近くのお寺さんへ足を運んでみてはいかがでしょうか。

真宗大谷派 長崎教区教化委員会

### 今月の門徒さん

除夜の鐘の音は、年の終わりを知らせるだけでなく、仏さまの「私はここに居ますよ」という呼び声のようで、その音に導かれて、毎年家族と共に鐘つきの列に並びます。

最近、テレビで騒音問題の一つとして除夜



（第2組 正林寺）



# ねんじゅ お念珠について



## Q 数珠との違いは？

合掌がっしょうは、仏を礼拝する仏教徒の基本的な作法であり、念珠ねんじゅはその作法に欠かせない法具として永い歴史があります。真宗しんしゅうで普段、数珠と呼ばないのは、他の宗派で見られるような数を数える道具としては用いないからです。また、この念珠は擦り合わせたり音を出したりもしません。

浄土真宗で用いる念珠の形状には一輪念珠（輪が一周のもの）と二輪念珠（輪が二周のもの）があり、玉の数は素材や形状によって様々です。

法事そうぎや葬儀の際はもちろんですが、お墓参りなどにもお念珠を忘れずに持ちたいものです。念珠の貸し借りを見受けることがあります。おのおの持つように心掛けましょう。

本願寺第八代の蓮如上れんにょしょうにん人は、「念珠をかけないで礼拝することは、仏さまを手づかみするに等しい行為だ」と戒いましめられました。それほどに、お念珠とは大切なものなのです。床やテーブルの上に直に置く事はせず、普段は念珠掛にかけるのが良いでしょう。

## 〔合掌の作法〕



①背筋をまっすぐにのばし、両手をみぞおちのあたりで自然に合わせます。（このとき念珠は片手ではなく両手にかけます。）



②ご本尊を仰ぎ、合掌しながら「南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）」と称えます。  
③最後に、合掌をといてから一礼します。



◆二輪念珠は、二つの親玉を親指のところではさみ、房は左側に下げます。  
◇一輪念珠は、房が下になるようにかけます。（①の写真）